



### 国際ロータリー第 2830 地区について

国際ロータリー第 2830 地区 2014-2015 年度ガバナー 工藤 武重

国際ロータリー (RI: Rotary International) はシカゴの弁護士 ポールハリス氏が異業種の人たちが奉仕と生涯にわたる友情を培うことのできる場として、1905 年に「ロータリー」を設立しました。ハリスのビジョンから始まったロータリーは、現在世界中の 200 以上の国や地域に約 3 万以上のロータリークラブが設立され、約 120 万人の会員を擁する組織へと発展しました。日本全体は 43 の地区に区分され約 8 万人のロータリアン (会員) が在籍しています。青森県は国際ロータリー第 2830 地区と言い、地区内に 41 のロータリークラブが存在し、1140 名のロータリアンが様々の分野の奉仕活動を行っています。

ロータリーの奉仕活動はクラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕の五大奉仕部門に分かれています。国際ロータリー第 2830 地区として行っている留学生交流事業は青少年奉仕部門が担当しています。その事業は以下のものです。

・青少年交換留学生制度：地区内の高校生を留学させるのと同時に派遣先地区からの留学生を地区で引き受ける制度で主に 1 年間の長期留学生を毎年 1-3 名派遣・受け入れしています。留学先の滞在先は主に派遣先地区のロータリアンの家庭で、当地区での受け入れもロータリアンの家庭で受け入れています。

毎年行われる青少年交換委員会の活動は

- ① 8 月末「第 1 回来訪学生及び派遣候補学生オリエンテーション、前年度帰国学生報告会」を受け入れ家族へのオリエンテーションとともにカワヨグリーンロッジで二日間開催しています。このオリエンテーションは 8 月末を第 1 回目として年間 5 回開催されます。交換学生の日本での留学生活が充実したものであるか、問題は無いかを一年中確認しています。
- ② 毎年 9 月から 10 月頃開催される地区大会へ来訪学生・帰国学生・派遣候補学生を参加させて地区内のロータリアンや後述の米山記念奨学生やインターアクトクラブ (ロータリークラブにより提唱された 12~18 歳までの高校生の社会奉仕クラブ) ローターアクトクラブ (ロータリーが地区内の奉仕を志す指導者を育成する目的で指導している 18~30 歳の若年成人の組織) との交流を図っています。

・米山記念奨学会奨学生制度：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は勉学・研究のために日本に在留している私費留学生に対しロータリアンからの寄付金を財源に奨学金を支



給し支援している財団です。毎年地区内の大学・大学院に在籍している 7-10 名程度が選考され 1-2 年間、毎月奨学金授与されます。主な活動は

- ① 毎年 4 月頃に奨学生とカウンセラー（奨学生の面倒をみるロータリアン）のオリエンテーション
- ② 年 2 回奨学会の意義を再認識するための米山フォーラムの開催
- ③ 地区大会への参加
- ④ 3 月に修了証書の伝達式・歓送会

等の活動の他に、奨学生を地区内のクラブ例会へ講演（卓話）としてゲスト参加させ、地区のロータリアンとの交流を深めています。

・また、地区内の各クラブで独自に留学生との交流事業を行っているクラブがあります。一例として弘前西ロータリークラブは 20 年間にわたって弘前大学に留学してきた学生に毎年 1-2 名に奨学金を支給し、毎月 1 回の例会やクリスマス会などの場で会員との交流の場を設けています。

今後はロータリー財団のグローバル補助金を使って来訪する大学院生などロータリーの種々の留学生支援制度を利用して留学する地区の学生や来訪学生が生まれてくる可能性もあります。これからも国際ロータリー第 2830 地区は留学生の生活の支援や就職の支援などを地区内ロータリアンと協力して積極的に行っていきたいと考えています。

